

スマートフォンアプリではじめる 動態管理

Cariotモバイルアプリの全て



1 動態管理のスマートフォンアプリとは? p.03

2 スマートフォンアプリのメリット・デメリット p.04

- スマートフォンアプリのメリット
- スマートフォンアプリのデメリット

3 CariotMobileアプリの機能 p.06

- 日常点検
- アルコールチェック
- 運転(業務)記録/業務ステータス管理
- チェックイン・訪問自動記録
- 業務データ入力による日報デジタル化
- アプリ起動・終了防止及び、ながら運転防止アラーム

4 活用事例 p.13

- ニック株式会社様/三貴ホールディングス株式会社様

動態管理のスマートフォンアプリとは？

GPS(Global Positioning System)は、地球上のどこにいても、携帯電話やカーナビゲーションシステムなどで利用できる位置情報サービスです。

GPS動的管理のスマートフォンアプリとは、GPSを利用したアプリケーションのことを指します。このようなアプリケーションでは、スマートフォンのGPS機能を使用して、ユーザーの現在地を把握したり、移動軌跡を記録したり、地図上にユーザーの位置を表示したりすることができます。

GPS動的管理のスマートフォンアプリは、旅行やアウトドアアクティビティ、フィットネストレーニングなどでよく使われます。

動態管理のスマートフォンアプリは、リアルタイムの位置情報で配送業の業務を大幅に効率化し、コストの削減、利益のアップにつながります。

今いる場所を共有するだけでなく、リアルタイムな位置情報を使って業務をどう効率化するかにフォーカスしています。



スマートフォンアプリのメリット・デメリット

スマートフォンアプリのメリット

スマートフォンアプリのメリットとしては、次のようなものがあります。

○ 便利

スマートフォンを持ち歩いていると、いつでもどこでもアプリを使用できます。

○ タイムリー

スマートフォンにはプッシュ通知機能があり、アプリからの通知を受け取ることができます。これにより、タイムリーな情報をすばやく受け取ることができます。

○ パーソナライズされている

スマートフォンアプリは、ユーザーの好みや使用状況を学習し、カスタマイズされたコンテンツやサービスを提供することができます。

○ デバイスの機能をフルに活用できる

スマートフォンには、カメラやGPS、センサーなどの様々な機能が搭載されています。スマートフォンアプリは、これらの機能をフルに活用できるため、より豊かでカスタマイズされたサービスを提供することができます。

また、スマートフォンアプリは、Webアプリやデスクトップアプリと比較しても、開発や配布が容易であるため、ユーザーにとっても利便性が高いです。

○ 移動や滞在場所をリアルタイムで追跡できる

GPSを使用することで、移動や滞在場所をリアルタイムで追跡することができます。

○ 効率的な管理ができる

GPSを使用することで、移動を可視化することができます。これにより、管理がより効率的になります。

○ 不正や災害の早期発見ができる

GPSを使用することで、移動履歴を記録することができます。これにより、不正や災害の発生を早期に発見することができます。

○ 安全を確保できる

GPSを使用することで、危険な場所にいることを知ることができます。これにより、安全を確保することができます。

ただし、動態管理をするためには、個人情報保護やプライバシーの問題があるため、適切な法的枠組みや手法を検討する必要があります。

スマートフォンアプリのデメリット

スマートフォンアプリは、携帯電話やタブレットなどのモバイルデバイス上で動作するアプリケーションです。スマートフォンアプリは、多くのユーザーにとって便利であると同時に、次のようなデメリットもあります。

○ データ通信量が多い

スマートフォンアプリは、インターネットに接続して使用することが多いため、データ通信量が多くなることがあります。これにより、通信料が高額になることがあります。

○ バッテリーを消耗する

スマートフォンアプリは、バッテリーを消耗することがあります。特に、GPSやカメラを使用するアプリや、常にバックグラウンドで動作するアプリは、バッテリーをより早く消耗します。

○ スマートフォンをハッキングされるリスクがある

スマートフォンアプリをインストールすることで、スマートフォンがハッキングされるリスクがあります。不正なアプリや、セキュリティーに問題のあるアプリをインストールすることで、スマートフォンが感染する可能性があります。

○ 個人情報が漏洩するリスクがある

スマートフォンアプリを使用することで、個人情報が漏洩するリスクがあります。アプリを使用する際に、個人情報を入力することがありますが、その個人情報が不正に取り出されることがあります。

CariotMobileアプリの機能

Cariotのスマホアプリで提供している機能をご紹介します。

機能
1

日常点検

あらかじめ設定した任意の点検カテゴリや項目を、ドライバーがスマホアプリで記録できます。またレポートを活用して日常点検の結果を一覧で確認することができます。

レポート: 車両に関連する日常点検
新規車両に関連する日常点検レポート

合計レコード数
15

車両: 車両名	日常点検: 点検名	タイヤの空気圧	エンジンオイルの量	ブレーキの踏みしめると動き具合	ワイパーの拭き取り能力	運転者の体調
営業車1 (15)	営業車1 2021-04-16 13:31	OK	OK	OK	OK	OK
	営業車1 2021-04-16 13:21	OK	OK	OK	OK	OK
	営業車1 2021-04-16 13:16	OK	OK	OK	OK	OK
	営業車1 2021-04-16 11:29	OK	OK	OK	OK	OK
	営業車1 2021-04-15 19:26	OK	OK	OK	OK	OK
	営業車1 2021-04-15 19:15	OK	OK	OK	OK	OK

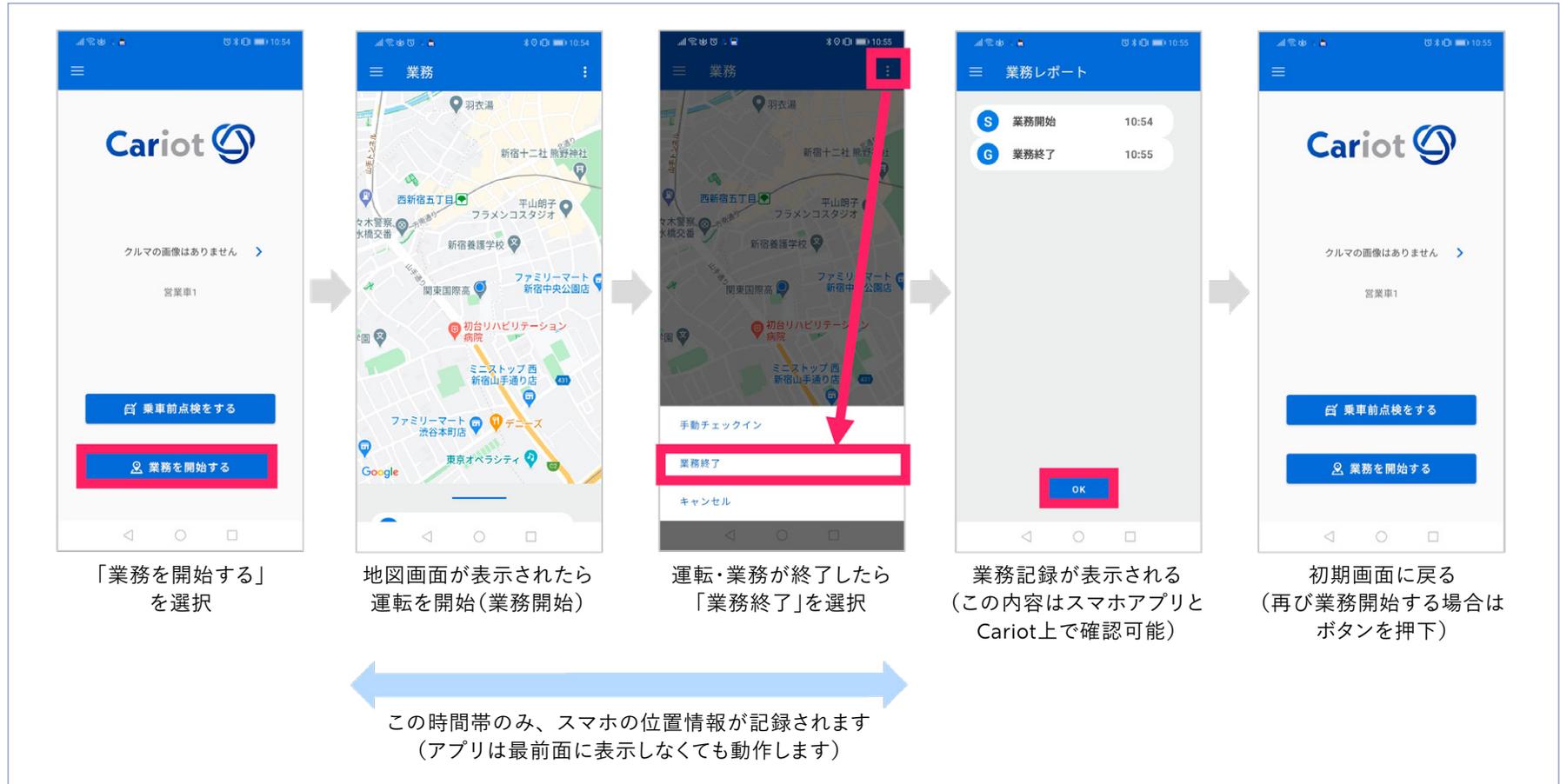
アルコールチェック

管理者の入力負荷を軽減するためのドライバー向け「アルコールチェック結果登録」をスマホアプリで提供、直行直帰の運用や、ドライバー同士での確認も対応できます。

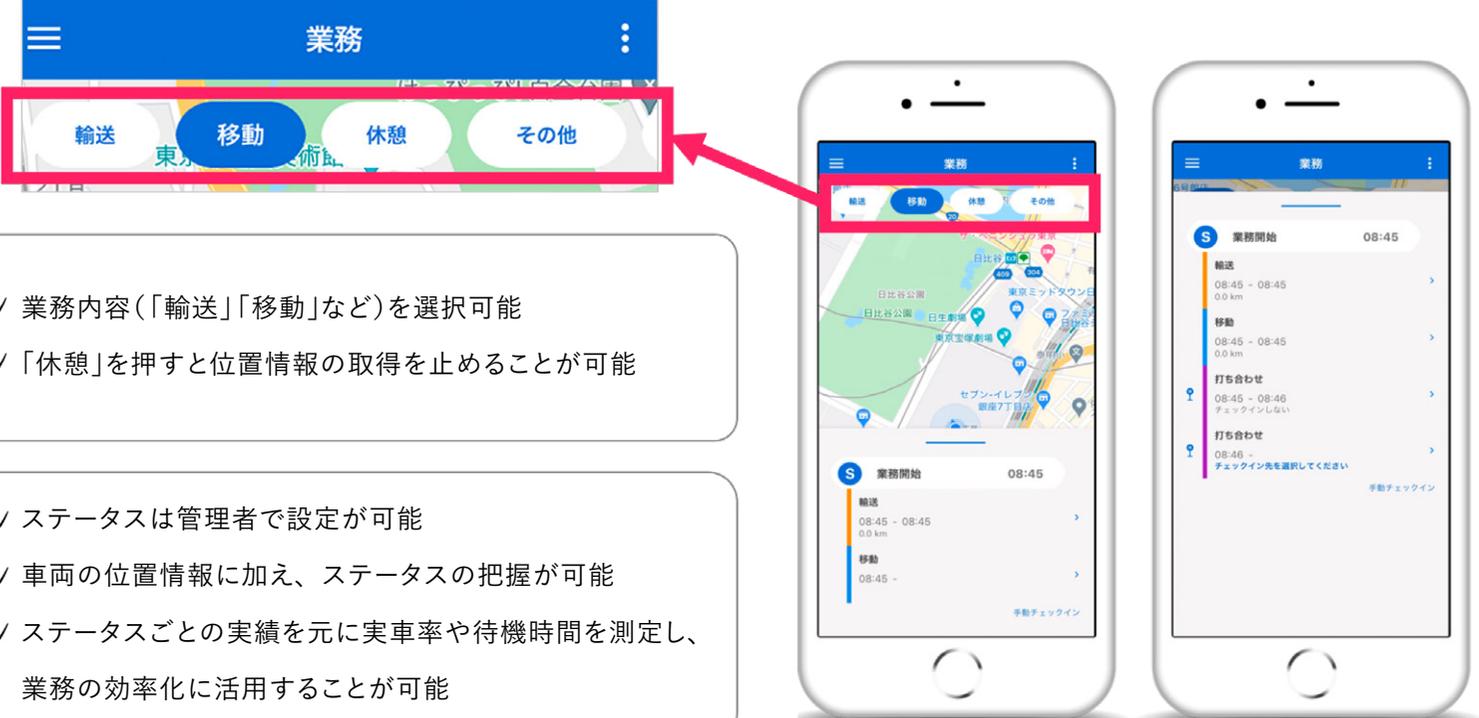


運転(業務)記録/業務ステータス管理(1)

業務中の休憩・実車・空車・待機等の業務ステータスをドライバーが入力でき、より正確かつリアルタイムでの業務実績の管理ができます。



運転(業務)記録/業務ステータス管理(2)



ドライバー

- ✓ 業務内容(「輸送」「移動」など)を選択可能
- ✓ 「休憩」を押すと位置情報の取得を止めることが可能

管理者

- ✓ ステータスは管理者で設定が可能
- ✓ 車両の位置情報に加え、ステータスの把握が可能
- ✓ ステータスごとの実績を元に実車率や待機時間を測定し、業務の効率化に活用することが可能

チェックイン・訪問自動記録

あらかじめ登録された取引先(顧客)への訪問実績が自動で記録されます。

また、同一敷地内に複数の取引先候補がある場合は、訪問を検知したタイミングでチェックインの確認通知がされ、ドライバーが直接、訪問した取引先を選択できます。



業務データ入力による日報デジタル化

あらかじめ設定した任意のカスタム項目をドライバーがスマホアプリから入力、納品等の記録に写真保存ができます。業務活動を集計した1日の運転日報を作成することができ、従来の作成・回収・集計等の作業負荷を軽減します。

業務活動(日報)の登録(スマホアプリ)

業務活動(日報)の確認(PC)

アプリ起動・終了防止アラームと、ながら運転防止アラーム

あらかじめ設定した業務開始時間・終了時間になると、ドライバーにプッシュ通知が送信されアプリの起動・終了の操作忘れを防止します。

また運転中のスマートフォンやタブレットなどの端末操作は法律で禁じられています。Cariotでは運転中の事故や危険を避けるために、運転時の操作ができないよう設定されています。



CariotMobileを活用されているお客様をご紹介します。

ニック株式会社様/三貴ホールディングス株式会社様

正確な運転日報作成のため手書きからシステム活用へ

福祉器具や介護用品の販売・レンタルを行うニック株式会社は、車椅子・介護用ベッドなどの福祉系用具を取り扱う三貴ホールディングス株式会社のグループ会社として、愛知県名古屋市に本社を置いています。全国に18拠点ある営業所から総勢120名弱の営業担当者が日々、病院や福祉施設への営業活動、個人利用者への営業・メンテナンス訪問などの介護現場の支援を行っています。

Cariot導入前は、営業担当者の活動の実績を把握するために運転日報を手書きで作成していました。しかし、不正確な情報が記載されている可能性や手書きだとどうしても恣意的な変更が可能であるという点に懸念がありました。元々、石村社長の私用車と連携しているアプリで走行履歴が取得できていたこともあり、運転日報に関するシステムもあるのではないかと考えました。並行してアルコールチェックにも対応しているシステムも探していたため、石村社長からグループ会社である三貴ホールディングス株式会社システム課に依頼し、情報収集を開始しました。

運転日報のみならず行動履歴が記録、活用できることが決め手に

GPSで距離が記録できるサービスは他社でも提供されていますが、Cariotは地点登録をすることで車両の走行履歴を後から追っていくことができます。いずれはこの機能を営業活動の改善にも活用できると考え、Cariotの導入を決定しました。

また、他社と比較してサービス品質の高さと導入しやすい金額だったことも、決め手のひとつとなりました。

Cariotは全国の営業所で一斉に導入しました。導入に際し、システム担当者はCariotのカスタマーサクセス担当者のサポートとWebマニュアルをベースに営業担当者用の手順書を作成し配布しました。それによりほとんどの営業担当者は問題なく利用を開始でき、「ログインができない」などの問い合わせに対しては、個別支援を行いました。

正確なデータ取得と日報作成の自動化で業務効率化を実現

営業担当者にはタブレットを配布していますが、Cariotの運用開始初期には起動のし忘れや切り忘れがありました。そのため、朝礼でCariotの起動とアルコールチェックを促す運用に変更し、1か月もしないうちに定着しました。



アルコールチェックの運用もCariotで行なっています。営業所では毎日、営業所長が朝礼と帰社後にチェックをしていますが、営業所長が不在の場合は別の担当者が確認・記録をし、ビデオ通話アプリを使用して遠隔で確認することもあります。



新しいことが始まると抵抗もありますが、ドライバーに習慣化してもらうことで、現在では日常業務として認識されています。

Cariot導入前、日報は各営業担当者が車内に持ち込んで、記録したものを月末に提出していました。その後、営業所長が確認をして本部に提出していました。しかし、2～3日経っても提出されないこともあり、事務員の方も未提出の営業担当者に催促をする負担がかかっていました。

Cariot導入後は、営業担当者は日報を書く手間を省くことができ、事務員も日報提出の声かけをせずに済むようになりました。日々、手間を省くことができるようになった一方で、正確なデータが取得できていることで、さまざまな部分の効率化につながっているのではないかと感じています。

記事を読む

正確なデータ取得と日報作成の自動化で業務効率化を実現
<https://www.cariot.jp/case/case23/>

Cariotの製品サイトでは、実際にご利用いただいている企業の導入事例を公開しています。こちらもぜひ、ご覧ください

Cariot導入事例ページ
<https://www.cariot.jp/case/>



スマートフォンアプリではじめる動態管理

Cariotモバイルアプリの全て

お問い合わせ先

株式会社フレクト Cariot事業部

Web: <https://www.cariot.jp/>

Mail: cariot_marketing@flect.co.jp

TEL: 03-3561-9610 (平日10:00 ~ 18:00)



cariot.jp

※本資料の情報、及び画像は、作成時点のものです。詳しくは最新の情報をご確認ください。
※各社事例の情報は、ヒアリング時のものになります。また、数値評価は企業努力も含まれます。

